漢字3 送り仮名(2)

活用のない語の送り仮名

・**名詞**

原則 送り仮名を付けない。
月・山・彼(かれ)・何

(例外) 他の読みと間違(まちが)えるおそれがあるものなどは最後の音節を送る。
後(うし)ろ・自(みずか)ら・情(なさ)け・勢(いきお)い・辺(あた)り

※活用のある語が変化して名詞になったもの(転成名詞)は、元の語の送り仮名の付け方にそろえる。

(動)動く → (名)動き　(形)重い → (名)重み　(形)正しい → (名)正しさ

・**副詞**

原則 最後の音節を送る。
必(かなら)ず・少(すこ)し・再(ふたた)び・全(まった)く・専(もっぱ)ら

(例外) 主な例外
直(ただ)ちに

・**連体詞・接続詞**

原則 最後の音節を送る。
我(わ)が・故(ゆえ)に・及(およ)び

※連体詞・接続詞はひらがなで書くことも多い。

確認テスト

(1) 次の――線部を漢字に直し、必要なら送り仮名を付けて答えなさい。

うしろから声をかけられる。

〔　　〕

(2) 次の――線部を漢字に直し、必要なら送り仮名を付けて答えなさい。

しあわせが訪(おとず)れる。

〔　　〕

(3) 次の――線部を漢字に直し、必要なら送り仮名を付けて答えなさい。

たよりが届く。

〔　　〕

(4) 次の――線部を漢字に直し、必要なら送り仮名を付けて答えなさい。

世界でもっとも高い山。

〔　　〕

(5) 次の――線部を漢字に直し、必要なら送り仮名を付けて答えなさい。

あくる日の朝。

〔　　〕

(6) 次の――線部を漢字に直し、必要なら送り仮名を付けて答えなさい。

ねばりづよさが私の良さだ。

〔　　〕